

麒麟のまち創生戦略企画担当課長会議資料	
令和6年3月28日	
担当課	鳥取市観光・ジオパーク推進課

鳥取砂丘西側リゾートホテルの開業について

鳥取砂丘西側に誘致を進めているリゾートホテルについて、2023年10月6日に株式会社dhp都市開発とマリオット・インターナショナルとの間で本契約が締結され、最高級ホテルブランド「ラグジュアリーコレクション」を誘致し、2026年の開業を目指すことが決定されました。

1. 事業の概要について ※イメージパースは現段階のもので、今後、外観等が変更になる場合があります。



建築場所：鳥取市浜坂 1390 番 219、221 他
敷地面積：約 18,264 m²
建物階数：4 階建 2 棟（1 階部分半地下構造）

施設概要（予定）

施設構成：オールデイダイニング、スペシャルティレストラン、ロビーラウンジ、バー、プール、大浴場、スパ他
客室数：100～110 室
※全室から鳥取砂丘と日本海が眺望
総事業：150 億円前後
客室単価：1 室 1 泊 6 万円～
雇用人数：最大 180 人程度
開業時期：2026 年中

■マリオット・インターナショナル

138 の国と地域に 31 ブランド、合わせて 8,600 軒以上の宿泊施設を擁するホスピタリティ企業。世界に 1 億 8,200 万人の会員を擁し業界最大。（本社：米国メリーランド州）

■ラグジュアリーコレクション

同社の最高級ブランドの 1 つで、世界的に名高いホテルやリゾートばかりを集めたコレクション。国内では東京、京都、奈良、沖縄で展開中。

2. パートナーシップ協定について

本事業は、鳥取砂丘及び因幡・但馬麒麟のまち連携中枢都市圏域の観光振興に広く貢献できる事業と認められることから、本市と事業者（合同会社鳥取砂丘リゾート開発：株式会社dhp都市開発が本事業のために設立した特定目的会社）双方で圏域の観光振興に取り組むことを目的とする、パートナーシップ協定を新たに締結しました。

これは、プロポーザル提案の 4 つ星級ホテルが 5 つ星級へとアップグレードされ、山陰初の外資系ラグジュアリーホテルの誘致が実現する一方で、建設資材等の高騰による事業費への影響が大きいことから、本市も整備費の一部支援を行うこととし、詳細は事業者と協議し、今後、決定するものです。

3. 期待される効果について

ホテルの宿泊者数は年間約 6 万人が見込まれ、うち約 3 割がインバウンドと想定されています。外国人観光客は国内旅行者より多くの消費活動を行い、比較的長期間滞在し、地域特有の自然環境や食文化、伝統文化等を体験することを好む傾向があるとともに、最大 180 人程度の雇用が予定されるなど、高い経済波及効果をもたらすことが期待されます。

<参考>共同記者会見（10/30）におけるブランド、ホテル事業者の主な発言要旨

■鳥取市の観光資源に対する評価について

唯一無二の鳥取砂丘は国内外の観光客に対する大きなアピールになると考えている。雪の降る砂丘や砂の美術館、山陰海岸ジオパークもここに来なければ体験できないものとして高く評価している。その他、和紙、焼き物、カニなども魅力にあふれ、ホテルのサービス・メニュー等に積極的に取り入れていきたいと考えている。

■鳥取砂丘をはじめ、鳥取県や麒麟のまち圏域の観光振興等への取組について

ホテルのコンシェルジュデスクにおいて積極的に近隣エリアの紹介を行い、周遊マップ等を作成したい。レストランにおいて使用する食材等の調達に関しても積極的に地元産を使用し、伝統工芸等の事業者とも連携を進めていきたい。

4. 今後の取組について

新型コロナウイルス感染症の5類移行後、観光需要は回復傾向にあり、特にインバウンド需要の回復は顕著となっています。2025年には大阪・関西万博が予定され、海外からも多くの外国人観光客が訪れることが見込まれています。万博の開催を機にインバウンド需要はさらに高まることが期待され、2026年のリゾートホテルの開業は、こうした外国人観光客の重要な受け皿になるものと考えています。

本市は2021年12月に、鳥取砂丘の観光振興、活性化及び保全に係る連携協約を鳥取県と締結し、西側エリアにおける滞在環境の上質化の推進などに連携して取り組んでおり、今後も鳥取砂丘及びその周辺の景観改善や交通環境の整備などを進めるとともに、麒麟のまち圏域や地元の観光事業者などと連携した情報発信、インバウンドをはじめとする観光客の滞在環境の充実・強化、体験・周遊コンテンツの磨き上げなどを積極的に進めてまいりたいと考えています。